



平成29年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年3月2日

上場会社名 株式会社アルチザネットワークス 上場取引所 東
 コード番号 6778 URL http://www.artiza.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 床次 隆志
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 清水 政人 TEL 042-529-3494
 四半期報告書提出予定日 平成29年3月16日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年7月期第2四半期の連結業績（平成28年8月1日～平成29年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年7月期第2四半期	709	△48.7	△118	—	△112	—	△147	—
28年7月期第2四半期	1,383	10.3	432	44.5	441	33.1	293	56.5

(注) 包括利益 29年7月期第2四半期 △57百万円 (—%) 28年7月期第2四半期 217百万円 (19.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年7月期第2四半期	△18.31	—
28年7月期第2四半期	36.31	36.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年7月期第2四半期	4,458	4,218	94.6	522.73
28年7月期	4,645	4,357	93.8	539.87

(参考) 自己資本 29年7月期第2四半期 4,218百万円 28年7月期 4,357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年7月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年7月期	—	0.00			
29年7月期（予想）			—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年7月期の連結業績予想（平成28年8月1日～平成29年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	11.1	204	△41.7	205	△41.0	125	△43.5	15.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年7月期2Q	9,562,000株	28年7月期	9,562,000株
② 期末自己株式数	29年7月期2Q	1,491,000株	28年7月期	1,491,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年7月期2Q	8,071,000株	28年7月期2Q	8,071,000株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。従いまして、本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願い致します。また、実際の業績は様々な要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。なお、業績予想に関する事項は3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

移動体通信分野では、LTEのサービスが世界各地で開始され、多種多様なモバイル端末の普及により、移動体通信の高速化・大容量化、サービス品質の向上に向けての研究開発及び設備投資が継続しております。国内においてはLTE-Advancedのサービスも普及し、既存のLTEのサービスに対して更なる高速化・大容量化が実現しております。また、LTE-Advancedへの研究開発投資も継続しつつ、第5世代（5G）通信方式の標準化への動きや、IoT（Internet of Things）を活用した新たなサービスの実現に向けての研究も行われており、海外におきましても、LTE-Advancedサービスも開始され、更なる移動体通信の高速化が全世界で進行しております。

また、固定通信分野におきましては光ファイバを中心としたブロードバンドサービスが進展し、IP化に伴うサービスの融合化が加速しております。モバイル端末の普及による、ユーザートラフィックの増加に伴う、ネットワークの負荷低減に向けた投資や、ネットワークの仮想化へ向けての投資も行われ、通信インフラの更なる高速化・大容量化が求められております。

これらの技術や新サービスの導入に伴い、設備投資や研究開発投資の需要が見込まれる一方で、通信品質の問題や、事業者間による加入者獲得競争、サービスの低価格傾向は定着しており、通信事業者及び通信機器メーカーの投資意欲に関しましては、引き続き選別的な姿勢が継続されるものと予想されます。

このような状況の中、当社グループでは、以下の営業、マーケティング及び研究開発活動を行いました。

- (i) LTE-Advancedに対応する製品の開発及び販売
- (ii) 欧州、中国、北米、韓国、中東等の海外市場におけるLTE-Advanced対応製品の販売及び市場開拓
- (iii) LTEに対応する製品の保守及び販売
- (iv) WiMAX 2+に対応した製品開発及び販売
- (v) 次世代ネットワーク及びネットワークセキュリティに対応した製品開発・商材開拓及び販売
- (vi) 通信分野における新事業に向けたマーケティング及び研究開発

その結果、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の売上高は以下のとおりとなりました。

（モバイルネットワークソリューション）631,860千円（前年同期比51.8%減）

当セグメントの売上高は、631,860千円となりました。LTE-Advancedの研究開発用途向けテストソリューションの国内及び海外向け販売が、前年同期比で減少した結果によるものです。

（IPネットワークソリューション）77,870千円（前年同期比7.3%増）

当セグメントの売上高は、77,870千円となりました。ネットワーク監視におけるパケットキャプチャツール「etherExtractor」の販売、イーサネットサービス向けのフィールドテスト用途の「サービススタ」及びコアネットワークテストの販売を行った結果、前年同期比で増加となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高709,731千円（前年同期比48.7%減）、営業損失118,282千円（前年同期は営業利益432,135千円）、経常損失112,762千円（前年同期は経常利益441,780千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失147,800千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益293,033千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,102,300千円であり、前連結会計年度末に比べ402,956千円減少いたしました。主な内訳は、売掛金が109,712千円、商品及び製品が231,856千円減少したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は1,355,798千円であり、前連結会計年度末に比べ215,679千円増加いたしました。工具、器具及び備品が188,109千円増加したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は227,285千円であり、前連結会計年度末に比べ48,958千円減少いたしました。買掛金が72,260千円減少したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は4,218,925千円であり、前連結会計年度末に比べ138,383千円減少いたしました。親会社株主に帰属する四半期純損失147,800千円を計上したことが主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による収入62,887千円、投資活動による支出21,889千円、財務活動による支出79,782千円により、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は2,538,187千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純損失192,048千円に対し、減価償却費78,474千円、売上債権の減少額109,712千円、法人税等の還付額17,127千円等があり、投資有価証券評価損79,286千円、仕入債務の減少額72,260千円があった結果、営業活動によって増加した資金は62,887千円（前年同期は31,627千円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出14,447千円があった結果、投資活動によって減少した資金は21,889千円（前年同期は80,205千円の収入）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

配当金の支払額79,700千円があった結果、財務活動によって減少した資金は79,782千円（前年同期は79,224千円の支出）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年9月1日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,523,962	2,521,751
売掛金	490,977	381,265
有価証券	46,321	16,435
商品及び製品	317,400	85,543
仕掛品	4,112	251
原材料及び貯蔵品	36,787	26,387
その他	85,694	70,664
流動資産合計	3,505,256	3,102,300
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	15,888	14,624
車両運搬具(純額)	708	462
工具、器具及び備品(純額)	271,021	459,131
有形固定資産合計	287,617	474,217
無形固定資産		
投資その他の資産	18,153	19,214
投資有価証券	603,774	613,515
その他	230,573	248,851
投資その他の資産合計	834,348	862,366
固定資産合計	1,140,119	1,355,798
資産合計	4,645,375	4,458,099
負債の部		
流動負債		
買掛金	144,040	71,780
未払法人税等	—	12,153
賞与引当金	27,828	29,394
その他	104,374	113,957
流動負債合計	276,243	227,285
固定負債		
資産除去債務	11,822	11,887
固定負債合計	11,822	11,887
負債合計	288,065	239,173
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,359,350	1,359,350
資本剰余金	1,503,745	1,503,745
利益剰余金	2,162,425	1,933,915
自己株式	△505,530	△505,530
株主資本合計	4,519,990	4,291,479
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△168,064	△80,858
為替換算調整勘定	5,383	8,304
その他の包括利益累計額合計	△162,680	△72,553
純資産合計	4,357,309	4,218,925
負債純資産合計	4,645,375	4,458,099

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)
売上高	1,383,550	709,731
売上原価	290,001	159,815
売上総利益	1,093,549	549,916
販売費及び一般管理費	661,413	668,199
営業利益又は営業損失(△)	432,135	△118,282
営業外収益		
受取利息及び配当金	13,165	2,779
為替差益	—	2,467
その他	—	302
営業外収益合計	13,165	5,550
営業外費用		
支払利息	159	26
為替差損	3,278	—
消費税差額	15	3
その他	67	—
営業外費用合計	3,520	29
経常利益又は経常損失(△)	441,780	△112,762
特別利益		
新株予約権戻入益	270	—
特別利益合計	270	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	79,286
特別損失合計	—	79,286
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	442,051	△192,048
法人税、住民税及び事業税	160,000	1,744
法人税等調整額	△10,982	△45,992
法人税等合計	149,017	△44,248
四半期純利益又は四半期純損失(△)	293,033	△147,800
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	293,033	△147,800

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	293,033	△147,800
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△71,228	87,206
為替換算調整勘定	△3,888	2,920
その他の包括利益合計	△75,116	90,127
四半期包括利益	217,916	△57,673
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	217,916	△57,673
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	442,051	△192,048
減価償却費	50,286	78,474
賞与引当金の増減額(△は減少)	113	1,566
受取利息及び受取配当金	△13,165	△2,779
支払利息	159	26
投資有価証券評価損益(△は益)	—	79,286
売上債権の増減額(△は増加)	△125,157	109,712
たな卸資産の増減額(△は増加)	△68,907	5,302
仕入債務の増減額(△は減少)	△55,045	△72,260
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	15,856
未払消費税等の増減額(△は減少)	△824	7,612
その他	△13,984	14,337
小計	215,526	45,084
利息及び配当金の受取額	9,438	702
利息の支払額	△159	△26
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△256,433	17,127
営業活動によるキャッシュ・フロー	△31,627	62,887
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,242	△14,447
無形固定資産の取得による支出	△2,866	△6,600
投資有価証券の償還による収入	95,800	—
その他	△485	△841
投資活動によるキャッシュ・フロー	80,205	△21,889
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△487	△81
配当金の支払額	△78,737	△79,700
財務活動によるキャッシュ・フロー	△79,224	△79,782
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,791	6,688
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△35,438	△32,096
現金及び現金同等物の期首残高	2,440,110	2,570,283
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,404,671	2,538,187

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年8月1日至平成28年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額(注)
	モバイル ネットワーク ソリューション	I P ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	1,310,968	72,581	1,383,550
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,310,968	72,581	1,383,550
セグメント利益又は損失(△)	612,783	△180,648	432,135

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年8月1日至平成29年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額(注)
	モバイル ネットワーク ソリューション	I P ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	631,860	77,870	709,731
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	631,860	77,870	709,731
セグメント利益又は損失(△)	72,290	△190,573	△118,282

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。